



▲地域住民による道なおし事業

Q 村有財産を有効に活用

A 精査し有効活用を図る

Q1

村の財政は、普通建設に充てがえる予算が8億円程であり、財政調整基金は7億5,000万円、村債残高は180億円と、健全財政をいっそう明確にしていくなかに迫られている。



山谷 仁 議員(新志会)

「お山の湯」には、指定管理者制度を導入しても、年間2,500万円の委託料、IGRの220万円の年間委託料など、経営母体の見直しや寄付等で支払いを抑えることが可能であるが考えは。

また未利用の土地等も見られるが精査し有効活用を図るべきであるが今後の考えは。

A1

村が指定管理者に委託しているものはふるさと交流館はじめ24施設、12業者となっており、19年度予算では3億1,200万円であります。公有財産には行政財産と普通財産があり、今後、財政の有効活用の観点から、普通財産の遊休地等、状況を考慮し検討をします。

きめ細かい生活基盤整備を

Q2

5年に国会において「地方分権に関する決議」で「国民が待望するゆとりと豊かさを実感できる社会を作るために」地方分権を推進すると決議しました。

しかし、きめ細かいサービスには行き届かず、「住民協働」にすり替えられていると考えるがどうか。

A2

道なおし事業など住民による自主的な道路拡幅工事の例もありますが、村道等の管理責任については法令に基づき村が負い、側溝の補修、改良工事にあたり、村が材料を提供し、特定の住民の方々に作業、労力を強いることは考えておりません。

村道、側溝の維持補修、改修の必要な箇所が村内全域にわたることから、緊急度に応じ改修工事を実施してまいります。

新人議員 おおいに語る

五月の就任から二ヶ月が過ぎ、忙しく過ごしている新人議員に初仕事の様子を伺いました。議員になって感じることをざっくりばらんに話してもらいます。

(司会・角掛邦彦議長)

議員になって感じることを生活スタイルの変化などとあわせてお聞かせ下さい。

日向 以前の規則正しい生活から自分で組み立てていく生活に様変わりし自分の時間管理とともに健康管理も難しいと思っています。

佐藤(澄) 予定を月や週単位で組み立てて進めています。予定通りにいかないことがいっぱいコントロールの難しいのが現状です。

遠藤 大きな生活の変化は家族の生活まで変えてしまったことでしょうか。平常の生活に戻すにはどうすればいいのか悩みが増えた感じです。

佐藤(美) 時間があるよう自由な時間が無く、自分のやりたいことがなかなかできなく細切れの生活になっています。

高橋 議員として村民として、地域の役員として、自分の立場がいろいろなのでどのように意識していけばいいのか、わからないままです。

議会に入って感じることもたくさんあると思います。感想をどうぞ。

佐藤(美) 今まで議員を身近にあまりみるのがなく、何をしているんだろう・・・どこに行っているんだろうと思っていました。実際はとても忙しくたくさんエネルギーを使っていることを実感しています。この頑張りがよく見えるようにしていかなければと感じています。

日向 ルールもわからずに議員になりましたが丁寧に教えていただきしかも厳正な場所と感じています。

国会中継を見るとけんか腰のやりとりなどのイメージがあるのですが、そうではないことや会派という部分での横のつながりがあることなどなごやかだと思っています。

六月の定例会には新人議員皆さんが一般質問に立たれましたが終えてみていかがでしたか。

遠藤 住民の代弁者となるように配慮したつもりでしたが、自分の

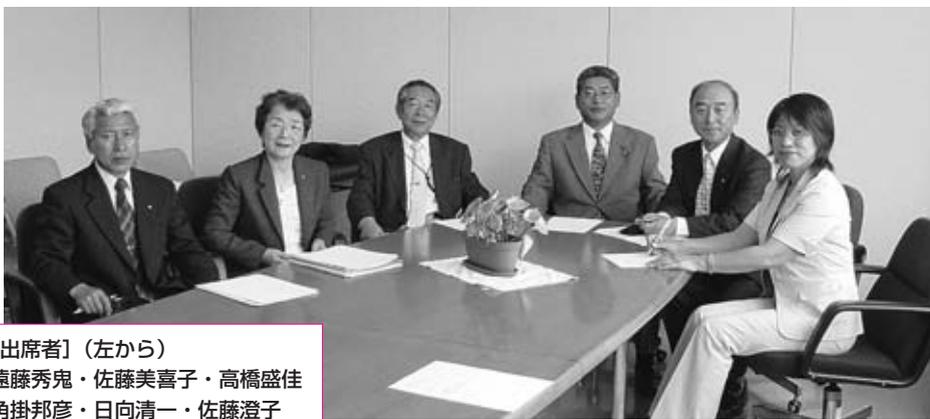
思いが先行し内容がわかりやすかったかどうか疑問です。一問一答方式ということですが、そのようになつていかなかったと反省をしています。

高橋 先輩議員は、いろいろな自分の引き出しをもって再質問をしていたが、自分は手順がわからず思いをのべていたことが主だったかなと感じました。もっと、内容を吟味し、よく解った上で進めていくことが大事と感じました。

佐藤(美) 始め、二項目を出し30分がやっとでした。答えを引き出すために質問するのだけれども何を引き出したいか、そのために何をどうするかが大事ですね。慣れと経験が必要と思いました。

日向 一時間を有効に使えるか、再質問ができるかが心配でした。再質問では緊張してむずかしく、質問直前に手直ししたので整理が全項目でできませんでした。

佐藤(澄) 答弁を聞きながら質問につなげていくことが難しく、頭の中を整理するだけで精一杯でした。一時間があったという間でした。



【出席者】(左から)
遠藤秀鬼・佐藤美喜子・高橋盛佳
角掛邦彦・日向清一・佐藤澄子